

「第2回 新型コロナウイルス感染拡大の仕事や生活への影響に関する調査」
(2020年8月実施)

【スクリーニング調査】

QS1 あなたの性別をお答えください。

(回答は1つ)

1. 男性
2. 女性

QS2 本年(2020年)4月1日時点の、あなたの年齢をお答えください。

(回答は半角数字入力)

満 歳

QS3 本年4月1日時点で、あなたは次の3つの要件 すべて に該当していましたか。

(それぞれ回答は1つ)

===== 項目 =====

- (1) 国内に在住していた
- (2) 20歳以上、64歳以下だった
- (3) 「民間企業（公務等以外）で働く会社員（役員を除く）」または「自営業主（内職を含む、農林漁業を除く）」だった

===== 選択肢 =====

1. はい
 2. いいえ
- ⇒いずれか「いいえ」で調査終了

QS4 本年4月1日時点で、あなたが居住していた地域をお答えください。

(回答は1つ)

プルダウンメニューで47都道府県(番号:1~47) + 海外(番号:48)をリスト表示

⇒海外在住は調査終了

QS2の20~64からQS3の(1)~(3)の1はQS4

QS4 p.1~47 頁 QS5

QS5 **本年3月1日時点**における、あなたの就業形態・就業状況をお答えください。

(回答は1つ)

(※)「自営業」は個人事業主、フリーランス、自由業、クラウドワーカー、シルバー人材等、呼称を問いません。

1. 正社員（役員を除く）
2. パートタイマー
3. アルバイト
4. 契約社員
5. 派遣労働者
6. 嘱託
7. 自営業（※）・内
8. 家業の手伝い
9. その他の仕事 具体的に：
10. 働いておらず、求職活動をしていた
11. 働いておらず、求職活動もしていなかった

QS5_1 **本年4月1日時点**における、あなたの就業形態・就業状況をお答えください。

(回答は1つ)

(※)「自営業」は個人事業主、フリーランス、自由業、クラウドワーカー、シルバー人材等、呼称を問いません。

1~6 頁 QS5_4

1. 正社員（役員を除く）
2. パートタイマー
3. アルバイト
4. 契約社員
5. 派遣労働者
6. 嘱託
7. 自営業（※）・内職

※これ以降
1~6 と回答した者を〈雇用者〉
7を〈自営業等〉という。

QS5_2 **本年5月末時点**における、あなたの就業形態・就業状況をお答えください。

(回答は1つ)

(※)「自営業」は個人事業主、フリーランス、自由業、クラウドワーカー、シルバー人材等、呼称を問いません。

1. 正社員（役員を除く）
2. パートタイマー

7 頁 QS5_3

〈自営業等〉は QS5_3

- 3. アルバイト
- 4. 契約社員
- 5. 派遣労働者
- 6. 嘱託
- 7. 自営業（※）・内職
- 8. 家業の手伝い
- 9. その他の仕事 具体的に：
- 10. 働いておらず、求職活動をしていた
- 11. 働いておらず、求職活動もしていなかった

↓

QS5_3 **本年4月1日時点**で、あなたはご自身の店舗をかまえて、商品やサービスの販売、飲食の提供などを行う「店主・経営者」でしたか。また、あなたが雇用主となって、従業員を使用していましたか。

(それぞれ回答は1つ)

===== 項目 =====

- (1) 店主・経営者でしたか
- (2) 従業員を使用していましたか

===== 選択肢 =====

- 1. はい ⇒いずれか「はい」で調査終了
- 2. いいえ

※これ以降 QS5_3 の(1)～(2)でともに2を〈フリーランス〉という。

QS5_7

〈雇用者〉は QS5_4

QS5_4 **本年4月1日時点**の、あなたの勤め先の主な業種をお答えください。

(回答は1つ)

※派遣労働者の方は、**派遣先の会社**についてお答えください。

- 1. 建設業
- 2. 製造業
- 3. 電気・ガス・熱供給・水道業
- 4. 情報通信業
- 5. 運輸業
- 6. 卸売・小売業
- 7. 金融・保険業
- 8. 不動産業
- 9. 飲食店、宿泊業
- 10. 医療、福祉

11. 教育、学習支援業
12. 郵便局・協同組合
13. サービス業
14. その他の業種
15. わからない

S5_5 **本年4月1日時点**のあなたの勤め先の、企業全体の従業員規模をお答えください。

(回答は1つ)

※派遣労働者の方は **派遣先の会社** についてお答えください。

1. 9人以下
2. 10～29人
3. 30～99人
4. 100～299人
5. 300～499人
6. 500～999人
7. 1,000～2,999人
8. 3,000人以上
9. わからない

QS5_6 **本年4月1日時点**の勤め先で、あなたが従事していた主な職種をお答えください。

(回答は1つ)

1. 管理職（課長クラス以上）
2. 専門・技術職
3. 事務職
4. 営業・販売職
5. サービス職
6. 保安・警備職
7. 生産技能職
8. 輸送・機械運転職
9. 建設作業・採掘職
10. 運搬・清掃・包装作業
11. その他 具体的に：
12. わからない

《職種分類の例》

〈雇
用
者〉
は
Q5_5

〈雇
用
者〉
は
Q5_6

管理職	例：課長、部長、支店長、工場長など
専門・技術職	例：科学研究者、機械・電気技術者、一級建築士、プログラマー、システムエンジニア、医師、薬剤師、(准)看護師、栄養士、福祉相談員、保育士、介護支援相談員、公認会計士、税理士、教員、記者、編集者、デザイナー、写真家、速記者など
事務職	例：一般事務員、銀行の窓口事務員、旅行会社カウンター係、案内係、フロント、集金人、メータ検針員、オペレーター、有料道路料金係、出改札係など
営業・販売職	例：一般商店・コンビニ・スーパー・デパートなどの販売店員、レジ係、商品販売外交員、保険外交員、銀行外交員、スーパー店長、新聞拡張員、不動産仲介人など
サービス職	例：理容・美容師、クリーニング工、調理人、ウェ이터・ウェイトレス、接客係、ホームヘルパー、ベビーシッター、駐車場・ビル管理人、寮管理人、ツアーコンダクター、ビデオレンタル店員、広告ビラ配達員など
保安・警備職	例：守衛、警備員、監視員、建設現場誘導員など
生産技能職	例：生産設備制御・監視員、機械組み立て設備制御・監視員、製品製造・加工処理工、機械組立工、機械修理工、自動車整備工、製品検査工など
輸送・機械 運転職	例：電車運転士、バス運転者、営業用乗用自動車運転者、貨物自動車運転者、船長、航海士・運航士、水先人、船舶機関長・機関士、航空機操縦士など
建設作業・ 採掘職	例：型枠大工、とび職、鉄筋工、大工、れんが積工、ブロック積工、タイル張り工、屋根ふき工、左官、畳工、配管工、送電線電工、外線電工、通信線架線工、電信機据付工、電気工事従事者、土木従事者、坑内採鉱員、石切工、砂利採取員など
運搬・清掃・ 包装作業	例：郵便・電報外務員、船内・沿岸荷役従事者、陸上荷役・運搬従事者、倉庫現場員、配達員、荷造工、清掃従事者、包装工など
その他	例：農・林・漁業の作業員、上記の選択肢以外の職種

QS5_7 **本年4月1日時点**の、あなたの仕事（事業活動）の主な職種をお答えください。

(回答は1つ)

1. 専門・技術職
2. 事務職
3. 営業・販売職
4. サービス職
5. 保安・警備職
6. 生産技能職
7. 輸送・機械運転職

フリーランスはQS5_7

- 8. 建設作業・採掘職
- 9. 運搬・清掃・包装作業
- 10. その他 具体的に：
- 11. わからない

《職種分類の例》

専門・技術職	例：科学研究者、機械・電気技術者、一級建築士、プログラマー、システムエンジニア、医師、薬剤師、(准)看護師、栄養士、福祉相談員、保育士、介護支援相談員、公認会計士、税理士、教員、記者、編集者、デザイナー、写真家、速記者など
事務職	例：一般事務員、銀行の窓口事務員、旅行会社カウンター係、案内係、フロント、集金人、メータ検針員、オペレーター、有料道路料金係、出改札係など
営業・販売職	例：一般商店・コンビニ・スーパー・デパートなどの販売店員、レジ係、商品販売外交員、保険外交員、銀行外交員、スーパー店長、新聞拡張員、不動産仲介人など
サービス職	例：理容・美容師、クリーニング工、調理人、ウェ이터・ウェイトレス、接客係、ホームヘルパー、ベビーシッター、駐車場・ビル管理人、寮管理人、ツアーコンダクター、ビデオレンタル店員、広告ビラ配達員など
保安・警備職	例：守衛、警備員、監視員、建設現場誘導員など
生産技能職	例：生産設備制御・監視員、機械組み立て設備制御・監視員、製品製造・加工処理工、機械組立工、機械修理工、自動車整備工、製品検査工など
輸送・機械運転職	例：電車運転士、バス運転者、営業用乗用自動車運転者、貨物自動車運転者、船長、航海士・運航士、水先人、船舶機関長・機関士、航空機操縦士など
建設作業・採掘職	例：型枠大工、とび職、鉄筋工、大工、れんが積工、ブロック積工、タイル張り工、屋根ふき工、左官、畳工、配管工、送電線電工、外線電工、通信線架線工、電信機据付工、電気工事従事者、土木従事者、坑内採鉱員、石切工、砂利採取員など
運搬・清掃・包装作業	例：郵便・電報外務員、船内・沿岸荷役従事者、陸上荷役・運搬従事者、倉庫現場員、配達員、荷造工、清掃従事者、包装工など
その他	例：農・林・漁業の作業員、上記の選択肢以外の職種

【本調査】

Q1 次の各時点における、あなたの就業形態・就業状況をお答えください。

(回答は1つ)

(※)「自営業」は個人事業主、フリーランス、自由業、クラウドワーカー、シルバー人材等、呼称を問いません。

===== 項目 =====

(1) 本年6月末時点

(2) 本年7月末現在

=====選択肢=====

1. 正社員（役員を除く）
2. パートタイマー
3. アルバイト
4. 契約社員
5. 派遣労働者
6. 嘱託
7. 自営業（※）・内職
8. 家業の手伝い
9. その他の仕事 具体的に：
10. 働いておらず、求職活動をしていた
11. 働いておらず、求職活動もしていなかった

Q2 本年4月2日以降、7月末現在までに、あなたは転職していますか。

(回答は1つ、転職月は半角数字を入力)

1. 転職していない（本年4月1日時点と同じ会社で働いている）
2. 転職している（本年4月1日時点とは別の会社で働いている） ⇒別の会社に
入社したのは ⇒※以降、就労状況等についてお伺いする質問については、あなたが「各時点で働いていた（働いている）会社」でのことをお答えください。

Q3 本年4月1日時点のあなたの「雇用契約」における、契約期間の長さをお答えください。

(回答は1つ)

※契約を更新している場合は 通算期間ではなく、1回当たりの契約期間の長さをお答えください。

Q1の(2)と1~6はQ2

Q2の1から「雇用者」は、Q3

1. 3 カ月未満
2. 3 カ月以上、6 カ月未満
3. 6 カ月以上、1 年未満
4. 1 年
5. 1 年超、3 年以下
6. 3 年超
7. 自動更新され、実質的に期間の定め無く働いている
8. 期間の定めは無い（定年・再雇用までなど）
9. 不明・わからない

Q2の1かつ〈雇⽤者〉はQ4
Q2の1かつ〈雇⽤者〉はQ5
Q2の1かつ〈雇⽤者〉はQ6

Q4 **本年4月1日時点**の勤め先での、あなたの勤続年数の長さをお答えください。

（回答は1つ）

※契約更新がある場合は、すべての契約期間を合算した **通算年数**をお答えください。

※派遣労働者の方は、派遣労働者として働いている年数をお答えください。

1. 6 カ月未満
2. 6 カ月以上、1 年未満
3. 1 年以上、3 年未満
4. 3 年以上、5 年未満
5. 5 年以上、10 年未満
6. 10 年以上、15 年未満
7. 15 年以上、20 年未満
8. 20 年以上、25 年未満
9. 25 年以上、30 年未満
10. 30 年以上

Q5 **本年4月1日時点**の勤め先での、あなたの役職をお答えください。

（回答は1つ）

1. 役職は無い（一般社員）
2. 係長相当職（課長補佐・代理を含む）
3. 課長相当職
4. 部長相当職以上（役員相当を含む）

Q6 あなたの **本年4月1日時点**の仕事についてお聞きします。以下のそれぞれの項目についてどの程度当てはまりますか。

(それぞれ回答は1つ)

===== 項目 =====

- (1) 仕事の範囲がはっきりしている
- (2) 仕事の目標や成果がはっきりしている
- (3) 定型的な仕事が多い
- (4) 自律的にこなせる仕事が多い
- (5) 顧客対応など接客・対人サービスを伴う
- (6) 性別で仕事の内容や役割分担が異なる
- (7) 会議や打合せ、調整の手間が多い
- (8) 他の人では代替できない仕事が多い
- (9) 仕事を行うには、勤め先にある特殊な機械・器具やシステムなどが必要になる
- (10) 個人情報など機密情報を取扱う

=====選択肢=====

- 1. 当てはまる
- 2. どちらかという当てはまる
- 3. どちらかという当てはまらない
- 4. 当てはまらない

Q7 あなたの 今の仕事 についてお聞きします。以下のそれぞれの項目について、どの程度当てはまりますか。

(それぞれ回答は1つ)

※派遣労働者の方は、派遣先の会社 での仕事についてお答えください。

===== 項目 =====

- (1) 精神的に過度なストレスがない
- (2) 仕事に働きがいを感じている
- (3) 仕事と生活のバランスが適度にとれている
- (4) 職場の人間関係がよい
- (5) 肉体的疲労は感じない
- (6) 一定の責任・裁量を与えられている

=====選択肢=====

- 1. 当てはまる
- 2. どちらかという当てはまる
- 3. どちらかという当てはまらない
- 4. 当てはまらない
- 5. わからない

Q2と1かっ〈雇用者〉はQ7

Q2と1かっ〈雇用者〉はQ8

Q8 あなたは、今の勤め先の会社を変わりたいと思っていますか。

※派遣労働者の方は、派遣先の会社 についてお答えください。

1. すぐにでも変わりたい
2. いずれは変わりたい
3. 変わるつもりはない
4. わからない

Q9 新型コロナウイルス感染症の発生から現在に至るまでの間に、新型コロナウイルス感染症に関連して、あなたの雇用や収入に関わる影響がありましたか。

(回答は1つ)

1. 大いに影響があった
2. ある程度、影響があった
3. あまり影響はなかった
4. 全く影響はなかった
5. わからない

Q9_1 新型コロナウイルス感染症の発生から現在に至るまでの間に、新型コロナウイルス感染症に関連して、あなたの仕事（事業活動）や収入に関わる影響がありましたか。

(回答は1つ)

1. 大いに影響があった
2. ある程度、影響があった
3. あまり影響はなかった
4. 全く影響はなかった
5. わからない

Q10 Q9で「大いに影響があった」「ある程度、影響があった」とお答えの方におたずねします。
新型コロナウイルス感染症に関連した、あなた自身への具体的な影響について、当てはまるものを すべて 選んでください。

(回答はいくつでも)

1. 会社からの解雇
2. 期間満了に伴う雇い止め
3. 勤め先の休廃業・倒産に伴う失業
4. 雇用・就業形態の変更

〈雇用者〉は Q9

〈フリーランス〉は Q9_1

Q9 や 1,2 は Q10

Q10 や 6 は Q

5. 業務内容の変更
6. 勤務日数や労働時間の減少（休業を含む）
7. 勤務日数や労働時間の増加
8. 収入の減少
9. 収入の増加
10. 自発的な退職
11. （上記に）当てはまるものはない その他 具体的に：
12. 答えたくない

Q11 新型コロナウイルス感染症の発生から現在に至るまでの間に、あなた自身は働きたい・働ける状態なのに、(通常月なら勤務予定だった日に) 勤め先から、自宅待機(一切、働けない「休業」)を命じられたことはありますか。
(回答は1つ)

1. ある
2. ない

Q12 勤め先から、「休業手当」は支払われましたか。
(回答は1つ)

1. 休業日(休業時間数)の半分以上が、支払われた
2. 休業日(休業時間数)の一部が、支払われた
3. (これまでのところ)全く支払われていない

Q13 次の各時点における、あなたの1週間あたりのおおよその実労働時間(残業を含めて、実際に働いた時間)をお答えください。
(それぞれ回答は1つ)

===== 項目 =====

- (1) 5月の最終週(5月25~31日) (緊急事態宣言の解除直後)の 週あたり 実労働時間
- (2) 6月の第4週(6月24~30日) (緊急事態宣言の解除から1カ月後)の 週あたり 実労働時間
- (3) 7月の最終週(7月25~31日) (緊急事態宣言の解除から2カ月後)の 週あたり 実労働時間

===== 選択肢 =====

1. 0 時間 (働いていない)
2. 15 時間未満
3. 15 時間以上、20 時間未満

Q11と1はQ12

〈雇⽤者〉はQ13

4. 20 時間以上、25 時間未満
5. 25 時間以上、30 時間未満
6. 30 時間以上、35 時間未満
7. 35 時間以上、40 時間未満
8. 40 時間以上、45 時間未満
9. 45 時間以上、50 時間未満
10. 50 時間以上、55 時間未満
11. 55 時間以上、60 時間未満
12. 60 時間以上

Q14 次の各時点における、あなたの税込みの月収をお答えください。

(それぞれ回答は1つ)

===== 項目 =====

- (1) 5月に働いた分の月収
- (2) 6月に働いた分の月収
- (3) 7月に働いた分の月収(見込み)

===== 選択肢 =====

1. なし
2. 5 万円未満
3. 5 万円以上、10 万円未満
4. 10 万円以上、15 万円未満
5. 15 万円以上、20 万円未満
6. 20 万円以上、25 万円未満
7. 25 万円以上、30 万円未満
8. 30 万円以上、35 万円未満
9. 35 万円以上、40 万円未満
10. 40 万円以上、45 万円未満
11. 45 万円以上、50 万円未満
12. 50 万円以上
13. 答えたくない

Q15 新型コロナウイルス感染症の問題が発生する前の、もともと(通常月)の月収と比較して、あなたの直近の月収はどうなりましたか。

(回答は1つ)

※働いて得た収入のみとします。

【減少した】

1. 1～2 割
2. 3～4 割
3. 5～6 割
4. 7～8 割
5. 9 割以上

【増加した】

6. 1～2 割
7. 3～4 割
8. 5 割以上

9. ほぼ同じ（変動は1割未満）

Q16 あなたは **昨年（2019年）**、夏季賞与（特別手当）をもらいましたか。
（回答は1つ）

1. もらった
2. もらっていない

Q17 昨年の支給額と比較して、**本年**の夏季賞与（特別手当）の支給額はどうなりましたか（どうなる見込みですか）。
（回答は1つ）

【減少した（する）】

1. 1～2 割
2. 3～4 割
3. 5～6 割
4. 7～8 割
5. 9 割以上
6. 本年は支給無し

【増加した（する）】

7. 1～2 割
8. 3～4 割
9. 5 割以上
10. ほぼ同じ（変動は1割未満）

〈雇⽤者〉は Q16 Q16 の 1 は Q17

〈雇⽤者〉は Q18

11. 未定・ わからない

Q18 政府や自治体の要請に基づき、あるいは自主的に、あなたが勤めている会社（事業所・工場・店舗）は、以下の対応を行いましたか（行っていますか）。

（回答はいくつでも）

===== 項目 =====

（1）新型コロナ問題の発生以降、緊急事態宣言の期間（～5月24日）までに行われたもの

（2）7月末（緊急事態宣言の解除から2カ月後）現在でも、継続して行われているもの

===== 選択肢 =====

1. 休業（閉鎖、閉店等）や休業日数の拡大
2. 営業時間の短縮
3. 一時帰休
4. 出勤日数の削減（例：交替で週2日勤務等）
5. 有給休暇の取得促進
6. 在宅勤務・テレワークの実施
7. サテライトオフィスなど勤務場所の変更
8. 通勤方法の変更（公共交通機関の利用制限等）
9. 時差出勤
10. 仕事の削減
11. WEB会議、TV会議の活用
12. 出張の中止・制限
13. 転勤の停止・中止
14. 他社への派遣
15. イベントや集会、会議、懇談会などの中止・自粛
16. 咳や発熱などの症状がある人への適切な対応（特別休暇の付与、出勤停止など）
17. マスク・アルコール消毒用品、フェイスシールドの使用・配備
18. その他 具体的に：
19. 特にない

Q19 Q18で「在宅勤務・テレワークの実施」を選択された方におたずねします。

次の各時点における、あなたの1週間あたりの「在宅勤務・テレワーク」日数をお答えください。

（それぞれ回答は1つ）

===== 項目 =====

- （1）5月の最終週（5月25～31日）（緊急事態宣言の解除直後）の週あたり在宅勤務日数
- （2）6月の第4週（6月24～30日）（緊急事態宣言の解除から1カ月後）の週あたり在

宅勤務日数

(3) 7月の最終週(7月25~31日) (緊急事態宣言の解除から2カ月後)の 週あたり 在宅勤務日数

=====選択肢=====

1. 1~2日
2. 3日
3. 4日
4. 5日(以上)
5. 行っていない

〈雇用者〉は Q20

Q20 あなたは仕事(職場やこれに準じる場所、通勤経路)上、新型コロナウイルスへの感染不安をどの程度、感じましたか(感じていますか)。

(それぞれ回答は1つ)

=====項目=====

- (1) 新型コロナ問題の発生以降、緊急事態宣言前(4月6日)まで
- (2) 緊急事態宣言の期間中(4月7日~5月24日)
- (3) 7月の最終週(7月25~31日)(緊急事態宣言の解除から2カ月後) 現在

=====選択肢=====

1. とても感じた
2. やや感じた
3. 何とも言えない
4. あまり感じなかった
5. まったく感じなかった

〈雇用者〉は Q21

Q21 新型コロナウイルス感染症の発生から現在に至るまでの間に、「ご自身の感染」以外に仕事面で、あなたが特に不安に感じたことを 3つまで 選んでください。なお、比較のため、新型コロナウイルス感染症の問題が発生する前に特に不安に感じていたことについても、同様にお答えください。

(回答は3つまで)

=====項目=====

- (1) 新型コロナ問題の 発生前
- (2) 新型コロナ問題の 発生以降、現在に至るまでの間

=====選択肢=====

1. 勤め先の経営状況の悪化あるいは企業倒産・事業所閉鎖
2. 解雇や雇止め(雇用不安)
3. 収入の減少(収入不安)
4. 感染予防や感染者発生時の対応など会社の衛生管理

5. 「一斉休校」などに伴う休暇や業務調整に対する会社のマネジメント
6. 在宅勤務・テレワークなどの環境整備
7. ご自身の仕事の調整
8. 職場の人間関係の変化
9. その他 具体的に：
10. 特にない
11. 答えたくない

Q22 新型コロナウイルス感染症に関連した具体的な影響について、当てはまるものをすべて選んでください。

(回答はいくつでも)

===== 項目 =====

- (1) 新型コロナ問題の発生以降、緊急事態宣言の期間（～5月24日）までに生じたもの
- (2) 7月の最終週（7月25～31日）（緊急事態宣言の解除から2カ月後）現在でも継続しているもの

===== 選択肢 =====

1. 業績への影響（売上高・収入の減少）
2. 業績への影響（売上高・収入の増加）
3. 既に受注していた仕事の中止や延期
4. 事業活動（生産、営業・販売、サービス）の抑制や休止
5. （接待自粛や納入遅れ等による）取引先との関係悪化
6. 新規受注や顧客の減少、消失
7. 新規受注や顧客の増加
8. 取引先の事業の休止・縮小や倒産
9. 物流の停滞・寸断や仕入れ価格の上昇等に伴う商品や材料等の調達困難
10. 納品や工期の遅延と対応
11. 海外渡航禁止や帰国指示、外出自粛要請等に伴う移動困難
12. 賃料負担等に伴う事業所の閉鎖や就労場所の変更
13. 資金繰りの悪化、廃業危機
14. 取引先の在宅勤務・テレワーク化に伴う対応負担の増加
15. 「一斉休校」や「分散登校」「短縮授業」などに伴う仕事との両立・調整
16. 感染予防など衛生管理負担の増加
17. その他 具体的に：
18. 特にない

Q23 次の各時点における、あなたの1週間あたりのおおよその実労働時間（残業を含めて、実際に働いた時間）をお答えください。

(それぞれ回答は1つ)

===== 項目 =====

- (1) 5月の最終週(5月25～31日) (緊急事態宣言の解除直後) の 週あたり 実労働時間
- (2) 6月の第4週(6月24～30日) (緊急事態宣言の解除から1カ月後) の 週あたり 実労働時間
- (3) 7月の最終週(7月25～31日) (緊急事態宣言の解除から2カ月後) の 週あたり 実労働時間

===== 選択肢 =====

- 1. 0 時間 (働いていない)
- 2. 15 時間未満
- 3. 15 時間以上、20 時間未満
- 4. 20 時間以上、25 時間未満
- 5. 25 時間以上、30 時間未満
- 6. 30 時間以上、35 時間未満
- 7. 35 時間以上、40 時間未満
- 8. 40 時間以上、45 時間未満
- 9. 45 時間以上、50 時間未満
- 10. 50 時間以上、55 時間未満
- 11. 55 時間以上、60 時間未満
- 12. 60 時間以上

Q24 新型コロナウイルス感染症の影響(東京オリンピック・パラリンピックの延期含む)で、あなたの仕事(事業活動)の5～7月分の売上高はどうなりましたか。新型コロナウイルス問題が発生する前の通常月の売上高を100とした数値で、お答えください。

(回答は半角数字で入力)

記入例)

5月分の売上高が通常月の20%減の場合⇒80と記入

6月分の売上高が通常月の15%増の場合⇒115と記入

(1) 5月分の売上高

(2) 6月分の売上高

(3) 7月分の売上高(見通し)

Q25 政府や自治体の要請に基づき、あるいは自主的に、あなたは仕事(事業活動)上、以下の対応

〈フリーランス〉はQ24

〈フリーランス〉

を行いましたか（行っていますか）。

（回答はいくつでも）

===== 項目 =====

- (1) 新型コロナ問題の 発生以降、緊急事態宣言の期間（～5月24日） までに行ったもの
- (2) 7月の最終週（7月25～31日）（緊急事態宣言の解除から2カ月後）現在でも継続して行っているもの

===== 選択肢 =====

1. 休業（閉鎖、閉店等）や休業日数の拡大
2. 営業時間の短縮
3. 在宅勤務・テレワークの実施
4. サテライトオフィスなど勤務場所の変更
5. 時差出勤
6. 仕事の削減
7. 取引先との打合せや営業活動等のオンライン化（WEB会議、TV会議の活用）
8. 出張の中止・制限
9. 喉や発熱などの症状がある場合の仕事（事業活動）の自粛
10. イベントや集会、会議、懇親会などへの参加中止・自粛
11. マスク・アルコール消毒用品、フェイスシールドの使用・配備
12. その他 具体的に：
13. 特になし

Q26 あなたは仕事（職場やこれに準じる場所、通勤経路）上、新型コロナウイルスへの感染不安をどの程度、感じましたか（感じていますか）。

（それぞれ回答は1つ）

===== 項目 =====

- (1) 緊急事態宣言前（～4月6日まで）
- (2) 緊急事態宣言の期間中（4月7日～5月24日）
- (3) 7月の最終週（7月25～31日）（緊急事態宣言の解除から2カ月後）現在

===== 選択肢 =====

1. とても感じた
2. やや感じた
3. 何とも言えない
4. あまり感じなかった
5. まったく感じなかった

Q27 あなたは仕事（事業活動）上、新型コロナウイルス感染症関連の以下の経営支援策のうち、既に利用を申請したり、今後の利用申請を考えたりしているものはありますか。また、そのうち既

〈フリーランス〉は Q26

〈フリーランス〉は Q27

に、受給した(している)経済的支援はありますか。当てはまるものをすべて選んでください。
(回答はいくつでも)

===== 項目 =====

- (1) 既に申請を行ったり、今後の申請を考えている経済的支援
- (2) 既に受給した(している)経済的支援

===== 選択肢 =====

1. 持続化給付金(売上が減少している事業主に100万円等)
2. 都道府県等の休業要請や営業時間短縮に応じた場合の休業協力金
3. 都道府県等による上記以外の給付金や助成金、融資等
4. 政策金融公庫のコロナ特別貸付やセーフティネット保証等による資金繰り支援
5. 小学校等の臨時休業に伴う対応支援金(業務請負等の仕事が出来なくなった、子を世話する保護者を支援)
6. 働き方改革推進支援助成金(テレワークの導入等を支援)
7. 国税、地方税、厚生年金保険料等の支払い猶予
8. 固定資産税等の減免
9. 欠損金の繰戻しによる法人税の還付
10. 公共料金(水道、電気、ガス、電話料金等)の支払い猶予
11. 家賃支援給付
12. その他 具体的に:
13. 特になし
14. 現時点では未定・分からない

Q28 あなたの仕事(事業活動)の継続見通しをお答えください。

(回答は1つ)

1. これまでの事業と同様の内容で、体制を拡大する
2. これまでの事業と同様の内容・体制で継続する
3. これまでの事業と同様の内容で、体制を縮小して継続する
4. これまでの事業を廃業し、新たな事業を始める(転業する)
5. 廃業して、雇用者に転職する
6. 廃業して、引退する(働かない)
7. わからない

Q29 あなたの最終学歴をお答えください。

(回答は1つ)

1. 中学校卒

〈フットランズ〉はQ28

2. 高校卒
3. 専修・各種学校卒
4. 短大・高等専門学校卒
5. 四年制大学卒
6. 大学院修了

Q30 本年7月末現在の、あなたの婚姻状況（事実婚含む）をお答えください。

（回答は1つ）

1. 既婚（配偶者あり）※事実婚を含む
2. 既婚（離別・死別）
3. 未婚

Q31 本年7月末現在で、生計を同一にしている子どもはいますか。

（回答は1つ）

1. いる
2. いない

Q31_1 Q31で「いる」とお答えの方におたずねします。

生計を同一にしている末子の年齢をお答えください。

（回答は半角数字で入力）

末子は満 歳

Q32 本年7月末現在で、あなたは親など高齢者の方と同居・近居していますか。

（回答は1つ）

1. 同居・近居している
2. していない

Q33 本年7月末現在で、主としてあなたの世帯の生計を支えているのは、どなたですか。

（回答は1つ）

1. あなたご自身
2. あなたの配偶者（妻・夫）※事実婚の相手を含む
3. あなたの親
4. あなたの子ども

Q31_1はQ31_1

5. その他 具体的に：

Q34 昨年1年間（2019年1月1日～12月31日）の、あなたご自身の年収（税込）と、世帯全体（配偶者等の収入を含む）の年収（税込）をお答えください。

※世帯全体の年収については、退職金や土地の売却代金など一時的な収入は除き、年金は含めてください。

（それぞれ回答は1つ）

===== 項目 =====

- (1) ご自身の年収
- (2) 世帯全体の年収

===== 選択肢 =====

- 1. ない
- 2. 100万円未満
- 3. 100万円以上、200万円未満
- 4. 200万円以上、300万円未満
- 5. 300万円以上、400万円未満
- 6. 400万円以上、500万円未満
- 7. 500万円以上、600万円未満
- 8. 600万円以上、700万円未満
- 9. 700万円以上、800万円未満
- 10. 800万円以上、900万円未満
- 11. 900万円以上、1,000万円未満
- 12. 1,000万円以上、1,200万円未満
- 13. 1,200万円以上、1,500万円未満
- 14. 1,500万円以上、2,000万円未満
- 15. 2,000万円以上
- 16. わからない

Q35 過去3カ月間の、あなたの世帯全体の家計収支は、以下のどれに当てはまりますか。

（回答は1つ）

- 1. かなり黒字（収入が支出をかなり上回る状況）
- 2. やや黒字（収入が支出をやや上回る状況）
- 3. 収支トントン
- 4. やや赤字（支出が収入をやや上回る状況）
- 5. かなり赤字（支出が収入をかなり上回る状況）
- 6. わからない

Q36 あなたやあなたの世帯では「家での食費」について、支出を切り詰めていますか。

(回答は1つ)

===== 項目 =====

- (1) 新型コロナ問題の発生前
- (2) 直近1カ月間

===== 選択肢 =====

1. 切り詰めていた(切り詰めている)
2. 切り詰めていなかった(切り詰めていない)
3. 該当する支出はなかった(該当する支出はない)
4. わからない

Q37 過去3カ月間に、あなたやあなたの世帯は経済的な理由で、下記のサービス・料金について支払えないことがありましたか。当てはまるものをすべて選んでください。

(回答はいくつでも)

1. 電話料金
2. 電気料金
3. ガス料金
4. 水道料金
5. 家賃
6. 住宅ローン
7. その他の債務
8. 滞納はなかった
9. 答えたくない

Q38 新型コロナウイルス感染症の発生から現在に至るまでの間に、あなたやあなたの世帯では「貯蓄」を取り崩しましたか。

(回答は1つ)

1. 取り崩した
2. 取り崩していない
3. そもそも貯蓄がない

Q38_1 新型コロナウイルス感染症の発生から現在に至るまでの間に、あなたやあなたの世帯では将来に備えた保険を解約・縮小変更しましたか。

(回答は1つ)

1. 解約・縮小変更した
2. 解約・縮小変更していない
3. そもそも加入していない

Q39 あなたは、新型コロナウイルス感染症の影響で生活が苦しくなることにより、国や自治体等の以下の経済的支援のうち、既に申請を行ったり、今後の申請を考えているものはありますか。また、そのうち既に、受給した（している）経済的支援はありますか。当てはまるものをすべて選んでください。

（回答はいくつでも）

===== 項目 =====

- (1) 既に 申請 を行ったり、今後の 申請 を考えている経済的支援
- (2) 既に 受給 した（している）経済的支援

===== 選択肢 =====

1. 特別定額給付金（一人10万円）
2. 緊急小口資金・総合支援資金（休業者や失業者等に20万円上限等で生活費を特別貸付）
3. 住宅確保給付金（休業等による収入減少で住居を失う恐れがある場合に家賃相当額を支給）
4. 傷病手当金（感染で仕事を休んだ場合の所得保障）
5. 雇用保険の失業手当
6. 新型コロナウイルス感染症対応休業支援金（休業手当を受けられなかった被保険者への直接給付）
7. 国税、地方税の支払い猶予や、国民年金、国民健康保険等の保険料の減免
8. 公共料金（水道、電気、ガス、電話料金等）の支払い猶予
9. 生活保護
10. 授業料、入学金の免除や減額、給付型奨学金（高等教育修学支援制度）
11. その他 具体的に：
12. 特にない
13. 現時点では未定・分からない

Q40 下記について、あなたはどれくらい不安を感じていますか。

（それぞれ回答は1つ）

===== 項目 =====

- (1) 感染の収束が見えないこと
- (2) 収入の減少に伴う生活への支障
- (3) 今後1年くらいの間失業・失職
- (4) 物価の上昇
- (5) 新しい生活様式による社会の変化

===== 選択肢 =====

1. かなり不安
2. やや不安
3. あまり不安はない
4. 全く不安はない
5. わからない

Q41 ご自身の仕事や生活全般に対する満足度を、新型コロナウイルス感染症の問題が発生する前後でお答えください。

(それぞれ回答は1つ)

===== 項目 =====

新型コロナ問題の 発生前

- (1) ご自身の仕事について
- (2) 生活全般について

新型コロナ問題の 発生後(現在)

- (3) ご自身の仕事について
- (4) 生活全般について

===== 選択肢 =====

1. かなり満足
2. やや満足
3. どちらともいえない
4. やや不満
5. かなり不満

Q42 あなたの生きがいを、新型コロナウイルス感染症の問題が発生する前後でお答えください。

(回答はいくつでも)

===== 項目 =====

- (1) 新型コロナ問題の 発生前
- (2) 新型コロナ問題の 発生後(現在)

===== 選択肢 =====

1. 仕事
2. 家庭(子や孫を含む)
3. 余暇、趣味
4. ボランティアや地域活動
5. その他(左記以外)
6. 特にない